

GWI アップデート 8月7日号

### 第 33 回 GWI 総会開催挨拶

総会は 7 月 25 日に GWI 会長 Geeta Desai の開会挨拶で始まった。彼女は約 50 ヶ国から会員が参集したことが、GWI および女性と女児の教育を受ける権利に対する共通した熱い思いを示していると表明した。続いてスイス大学女性協会会長、地元準備委員会議長 Doris Boscardin が、歓迎挨拶と共にジュネーブ大学、すべての運営関係者とボランティアに対して感謝の念を表し、スイスで三度目の GWI 総会開催を引き受けることができていると誇りに思うと語った。次に、スイス国会議員 Lissa Mazzone が、1 世紀前には 10 パーセントの女性しか大学へ進学できなかったが、ありがたいことに変化してきたと述べた。手本となる先駆者の女性たちは、女性のための道を切り開いてきたが、女性が公的領域で何らかの地位を得るためにはいまだに戦わなければいけないとも話した。また、2019 年 6 月 14 日に実施されたスイスにおける歴史的な街頭行動に言及した。その日は 50 万人の人々が、まだスイスにはジェンダー割当制度がなく、男女同一賃金の約束が果たされていないことを周知するために集まったのだ。

次にジュネーブ大学ジェンダー平等部長 Brigitte Mantilleri が、「教育—女性蔑視に対抗する手段」と題して基調講演を行った。ジェンダー平等における格差や女性蔑視を描いた物語を紹介し、ヨーロッパでは女性の権利の分野での前進にもかかわらず、格差や蔑視が微妙なかたちでいまだに存在すると語った。彼女は女性の描かれ方の歴史を追いながら、そこに見られる女性蔑視を例証した。その講演を注意深くメモしている GWI 会員の姿が見られた。

総会第 2 日、Desai 会長は国家政策や世界政策と同様に、教育や交易、開発、平和をジェンダー平等の切り口から理解することが大変重要であると再度強調した。この理解無くして GWI が政府に影響を与え、その国々で知識に基づいた提唱活動を遂行することは困難であろうとした。

この目標を達成するために、GWI は「世界経済の中での開発の共通目標」と題して基調パネルディスカッションを行った。パネリストの国連貿易開発会議 (UNCTAD) の貿易、ジェンダーと開発プログラムの国連チーフである Simonetta Zarrilli、および世界貿易機関 (WTO) の貿易とジェンダー担当者の Anoush der Boghossian が、ジュネーブ大学法学部教授であり WTO 参与でもある Gabrielle Marceau の司会のもと、交易と女性の権利ひいては平和との間の関係が重要であると明言した。パネリストたちは、交易がどのように女性の日常生活に影響を及ぼしているのか、即ち女性が最大の消費者である品物の値段や、政府による公共サービスの供給にどのように影響を与えているのかを議論した。さらに、交易が適切な生活水準に対する権利や食物への権利、ジェンダー平等への権利獲得の後押しができるという理由によって交易と人権の関連も指摘された。

### ワークショップ、セミナー、ポスター発表

68 余りのワークショップ、セミナー、ポスター発表が GWI 大会期間中に行われた。「教育を通じて平和を」大会（7 月 27 日）は、研究や政策提言での経験や専門知識を有する講演者を揃え、教育、女性そして平和を第一に追求する私たちの戦略作りを支援した。

また会員は以下の 5 つのサブテーマのうち 1 つないし 2 つに関係する多様なポスター発表、ワークショップやセミナーを行った。

1. 女性と女兒への教育によって、どのように紛争を防ぎ、社会を変革できるか。
2. 平和の文化をもたらすために、どのようにカリキュラムを発展させ変化させられるか。
3. 相互につながった、しかもその 3 分の 2 が紛争下にある世界に暮らすとは、いかなることか。また、紛争は私たちの日常生活にどう影響するのか。
4. 若い専門家に対してどのようにすれば、教育とジェンダーの問題と、自らの個人的及び職業上の成功とのつながりを理解し、関係付けられるようにできるのか。
5. 大卒女性が、教育、平和、提唱活動と行動が交叉するところで、地域、国、世界の政策に影響を与えるには、いかなる働きができるのか。

## GWI アップデート 8月7日号

### WTOにおける貿易とジェンダーに関する基調討論会

7月26日 GWI メンバーは世界貿易機関/WTO の招待に応じ、貿易におけるジェンダー平等の重要性に関する WTO のパネル討論会とその後の歓迎会に出席しました。貿易に関して世界を変える多くの決定がなされる WTO への訪問はまさに千載一遇の機会でした。ジェンダーが2年前から WTO の重要課題となって以来、その取り組みは積み重ねられ、発展してきました。WTO の貿易とジェンダー行動計画 (2017-2019) や 2017 年ブエノスアイレスで出された「貿易と女性の経済的能力強化に関する共同宣言」で掲げられた推奨、行動、目標に沿って WTO は活動しています。この討論会では、貿易とジェンダーに関する WTO の取り組み、および教育や平和そして女性のエンパワーメントを推進する貿易の役割に焦点が当てられました。

GWI は広大なネットワークを持つ組織として、GWI メンバーが田園地域で、また都市化が進んだ地域で女性たちのメンターとして指導している例のように、貿易での男女平等に関する WTO の取り組みを支援できると確信しています。発題者は、ビデオメッセージで参加した Roberto Azevedo (WTO 事務局長)、Sunanta Kangvalkuij 特使 (WTO 一般理事会議長)、Aranch Gonzales (国際貿易センター執行理事)、Ratnakar Adhikari (EIF/拡大統合フレームワーク執行理事)、Gabrielle Marceau (WTO 法務部顧問)、Anoush der Boghossian (WTO 貿易とジェンダー担当者)、Geeta Desai (GWI 代表) でした。

GWI メンバーはアゼベド事務局長の男女平等への公約と GWI100 周年への祝辞に感銘を受けました。全発題者の話を聞いた GWI メンバーは自国に戻り、自国の GWI メンバーや他の女性団体とはもちろんのこと、政府機関とも WTO が強調する男女平等をもっと広めていくためには何ができるのか議論していきます。女性起業家や、小さな加工業や製造業を協同で営む女性たちに活力を与え、彼女たちの国際的な市場への参入を支援していきます。最も弱く傷つきやすい女性たちに経済的自立への一歩を踏ませていきます。

国際大学女性連盟 (IFUW) と大卒女性インターナショナル(GWI)の 100 年 (1919-2019)

1918 年、イギリスの複数の大学からなる一団が訪米した際、米国の Barnard College の学部長 Virginia Gildersleeve 教授と、イギリスのロンドン大学 Caroline Spurgeon 教授そしてバーミンガム大学の Rose Sidgwick 氏とが出会った。彼女たちは第一次世界大戦のような惨事を再び起こさないために世界中の大卒女性で結成する組織の必要性について話し合った。大卒女性が世界的に繋がれば、お互いを理解し友情を深め平和を築くために活動できるはずである、と。

この[リンク](#)\*から、国際大学女性連盟（現大卒女性インターナショナル）がそのビジョンを高めていった 100 年の歩みをご覧になれる。この魅力的な女性達の[ラインアップ](#)をぜひともじっくり見ていただきたい。

\*注 日本の高野フミ、青木怜子両元 I F U W 会長の記事も載っています。（英文）